

令和5年度 都立葛西工科高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	社会に出た時に自分で文章を読み取れる力を付ける。	①常に本文の記述に基づいて読解をする姿勢の育成。 ②文学作品の分析および読解に関する考察についての、ギャラリーウォークの実施。 ③教科書の教材に関連する資料や図書の提供し、教材への興味をさらに深める。	①各単元で学習した内容を、初見の文章の読解時にも活かせるかを定期テストなどで確認する。 ②ビブリオバトルへの応募。 ③図書室における読書会の開催(予定)。
数学	基礎計算能力の定着を図る指導の充実 「公式等の使い方」の指導の充実	・授業において式の展開、因数分解等を中心に、基礎計算方法をその都度丁寧に教える授業の実施。 ・公式等について、論理的な説明よりも、その使い方を重点とした授業の実施。	公式が使えるようになった後に、その論理的な意味を理解させ、応用させる力を養う授業の実施。
外国語	「話すこと」の指導	・年度当初の教科会で教科指導の重点について意見交換し基礎学力の醸成と話すことに重点をという結論を共有した。 ・1, 2年次では絵を見て、教科書の本文を再生させる指導をしている。	3年次ではペアでダイアログを作らせ発表させている。
地歴及び公民	「主体的に考える力」の養成 「主権者教育」の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定。 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施。	・授業の中で自らの意見や周りと話し合う活動を取り入れたワークシートの導入。 ・現代社会の授業冒頭5分でニュースまとめの実施。 ・統一地方選挙の際に実際の候補者や政党のマニフェストを比較する授業の実施。
理科	主体的に学習に取り組む態度の評価の内容について	担当教員の主観での評価でばらつきを生まないために、評価対象と基準を明瞭にしている。	特に主体的に学習に取り組む態度については授業への積極性を授業プリントの内容、課題への取り組み、発言や表現により評価をしている。
家庭	家庭科の基礎的・基本的知識や技術を習得させるための指導の充実	基礎的・基本的知識を身につけられるようなプリントを作成。 少人数の指導により、きめ細かい指導。	さらに理解しやすいようパワーポイントを作成。 放課後の時間を活用し個人指導を行い、全員が作品を完成できるように指導。
体育	・全身持久力の養成 ・運動を持続することのできる能力の育成	各授業初めにランニングを実施	・水泳、持久走では所定の時間、運動を続け距離を伸ばしていく授業を展開 ・各種目では試合の待ち時間を作らないよう班分けを実施する。
保健	主体的に取り組む、表現していく能力と聞く能力の育成	発表授業を実施	・グループを作り、その中で発表内容や役割分担を決め、発表する。 ・質疑応答の時間を取り、互いに深く考察していく。
工業(機械)	工業の各分野について理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につける。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけさせる。
工業(デュアルシステム)	社会人として求められている資質と能力の育成や専門的技術力の向上	・企業の方を学校に招き講演会の実施 ・企業見学の実施	・就業実践の実施
工業(電子)	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、広い視野から自ら思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、的確に表現し伝える能力を身につける。	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につける。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を学ぶ態度を身につけ、年間24テーマのレポートの提出時に礼儀作法・課題対応に取り組んでいる。
工業(建築)	自ら率先して作業へ取り組む実習の充実	生徒たちが自主的に実技に取り組めるように、簡単な実技から行わせて自信を持たせる。	簡単な手道具(のこぎりなど)の使い方を理解したあとに、電動工具(帯のこ盤など)へステップアップして、作業の幅や精度を高めていく。